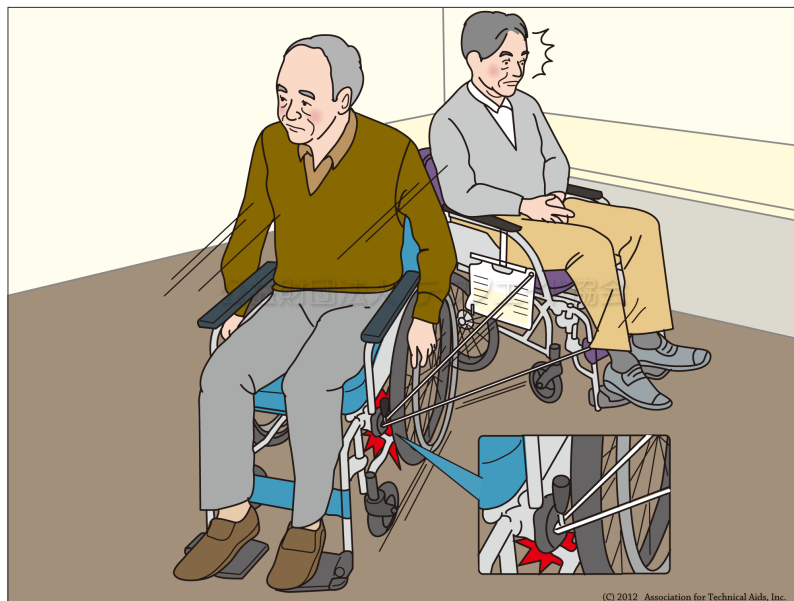


## Case : 133

### 導尿チューブがブレーキレバーに引っかかって外れそうになる

#### 場面の説明

導尿チューブがブレーキレバーに引っかかっていることに気づかず走行した



利用シーン

移動

主な利用場所

リビング・居間  
ダイニング・食堂  
廊下

介護保険の種目

車いす

分類コード (CCTA95)

122106(後輪駆動式車いす)

介護テクノロジー

—

二次元バーコード



#### 解説

カテーテルが抜けてしまうなど大きな事故につながりかねない事例で、他の人が操作する車いすだけではなく、手すりや家具類に引っかかってしまうことも考えられます。導尿チューブをはじめ、酸素ユニットや呼吸器などのチューブ類は、いずれも命に係わる大切な役割を果たしています。これらのチューブ類が車いすの外側にはみ出した状態で放置しないよう、紐などで処理しておくことが大切です。

#### 参考要因

人：導尿チューブにブレーキレバーが引っかかっていることに気づいていない  
人：導尿チューブが引っかかり易い状態で放置していた  
モノ：ブレーキレバーはひも状のモノを引っ掛け易い  
環境：他に通れる通路がなかった